

2021年8月19日(木)

全国フェミニスト議員連盟
陣内やすこ様

NHKと裁判してる党弁護士法72条違反で
党首 立花孝志

衆議院議員選挙における女性立候補者増に取り組むためのアンケートについて(回答)

前略 この度は政党アンケートのご送付誠にありがとうございます。
下記の通り回答いたしますので、恐れ入りますがご確認の程何卒よろしくお願い申し上げます。ご不明点等はお手数をおかけし誠に恐縮ですが下記記入担当者(末永)宛にお問い合わせくださいませ。なお、面談については党首立花孝志が対応いたしますが、スケジュール調整は末永が対応致しますので、末永宛にご連絡くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

草々

記

1 党の現職女性国会議員(衆議院議員/参議院議員)の人数と割合を教えてください

衆議院議員 / 計1名 うち、女性は0名(0%)

参議院議員 / 計1名 うち、女性は0名(0%)

2 衆議院議員選挙候補予定者における、女性の人数と割合をお聞きます。

- ・小選挙区における女性の人数と割合 計25名 うち、女性は5名(20%)
- ・比例区における女性の人数と割合 計6名 うち、女性は1名(17%)
- ・引退議員の人数及び性別と、その後任の候補予定者の性別 計0名

※いずれも、2021年8月19日時点の候補予定者であり、今後増える可能性があります

[3] 「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」の改正を受けて、党として積極的にどのようなことに取り組みますか。あるいは取り組んでいますか。

1 男女の候補者の数の目標を設定していますか。
設定していません。

2 セクシュアルハラスメント・マタニティハラスメント等への対策がありますか。
ありません。

3 この法律について、党内で研修や勉強会などに取り組みましたか。
実施しておりません。

4 その他、男女候補者を均等にするための方策についてあればお答えください。
(実施予定も含めて)

真面目で優秀な女性が政界で活躍することは是非とも推進していきたい。しかしながら現在の政治は、特定の団体のしがらみや党議拘束などの活動規制、莫大な時間とお金を要しながら落選後の補填が一切ない選挙運動が当たり前であり、一部の既得権からの得票を得なければ長く政治を続けることが困難であるために、真の民主主義における政治活動が行われているとはとても言い難い状況が続いている。これでは女性の活躍どころか、民主

政治の健全な発展すら期待できない 日本が他国に比べて女性議員が著しく少ないという実態はこの古い政治体質が女性の活躍を阻んでいるといっても過言ではない。我々NHK党はこの古い政治体質を抜本的に変えるために「諸派党構想」戦略を次期衆院選より実行していく 「諸派党構想」戦略においては、女性候補者は自らの得票に応じた政党交付金を100%受け取れる仕組みとなっており、政治資金の支援が手厚く挑戦しやすい土台となると考えている。現時点で次期衆院選の女性候補者数は少ないが、まずは女性が政治参加したい、立候補したいと思える「楽しく生き活きと取り組める政治」の実現を目指しながら、諸派党構想で政治活動を長期的に行うための仕組みを提供することで、党公認候補者として優秀な女性を多数迎え入れたいと考えている。

【4】男女平等政策の内容についてお聞きします。

1 選択的夫婦別姓制度導入に関する議論は立法機関での真摯な議論が必要と2015年につき2021年の判決においても最高裁大法廷は求めています。党の国会での今後の取り組み、見解をお聞きします。

- ・ 選択的夫婦別姓制度導入に関する議論を積極的に進めていく

2 2021年4月12日、法務省の「性犯罪に関する刑事法検討会」で刑法改正に向けた議論の「とりまとめ報告書」が公表されました。次の論点についてのご見解をお聞きします。

- ・ 不同意性交犯罪の創設について

反対

意見：犯罪事実認定の明確性を担保できないため

- ・ 性的同意年齢の16歳への引き上げについて

賛成（ただし、ほぼ同年代同士の自由恋愛の場合は、処罰を阻却すべき）

意見：義務教育の子どもたちは、無条件に性的搾取から守られるべきである

- ・ 地位関係性利用型性犯罪規定について

不要

意見：上司と部下など恋愛する可能性は十分にある一方で、性的同意年齢を16歳へ引き上げれば、少なくとも中学生までは保護されるため

3 コロナ禍の中で女性の貧困がより一層厳しいものとなり、2020年の女性の自殺者数は前年より935人も増えました。女性の貧困に対する見解と改善施策をご提示ください。

女性の多様な生き方を支援すべきである。具体的には、待機児童ゼロ、男性の家事育児参画支援やスマート家電導入支援による女性の家事育児負担の軽減、女性の再就職やキャリアアップ・キャリアチェンジ支援、生理の貧困解消、女性の権利擁護、フェムテックの支援等。NHK党の諸派党構想において女性の活躍を支援する政治団体は複数立ち上がり、政治活動において様々な女性の声に真摯に耳を傾け、実用的な政策の実現へ繋げていくことが重要であると考えている。

【5】女性議員が多い国の選挙制度を見ると、比例代表制が殆どです。アジアで女性議員が一番多い(41.6%)台湾は小選挙区と比例の組合わせで、クオータ制が義務化され重複立候補がありません。女性議員増を図るためには、選挙制度の見直しが必要ではないでしょうか。選挙制度についてのお考えをお聞きします。

- ・ 見直しが必要（具体的にお示しください）

前述の通り、日本が他国に比べて女性議員が著しく少ないという実態は古い政治体質が女性の活躍を阻んでいるといっても過言ではない。こういった政治体質を抜本的に見直したうえで、クォータ制の導入検討など女性が活躍するための仕組みを積極的に検討していきたい。

記入担当者名 末永友香梨（すえながゆかり）

担当部署名 参議院議員浜田聡事務所

連絡先 080-8012-2514

以上